

大学文書館で1970～1980年代学生関係資料を受贈

5月24日（木）、大学文書館では、竹下忠彦氏から在学関係資料5箱をご寄贈いただきました。

竹下氏は、教育学部教育学科を1982（昭和57）年に卒業されました。在学中は恵迪寮や月寒学寮に入寮していました。この頃は、寮の統廃合、寮費負担の見直しといった学寮問題がおきていた時期でした。

卒業後は、多摩養護学校や府中特別支援学校などに勤められ、特別支援教育に従事されました。

この度、受贈した資料は、日記、授業のノートやプリント、研究室のパンフレット、学寮関係のノートやプリント、アルバム・写真、恵迪寮の手拭い

や寮歌のレコード・カラオケカセットなど、内容・形態が多岐にわたります。

日記では、ご自身の時間割やゼミ発表の準備などの勉強、北大寮連（北海道大学学生寮連合）や七寮生討論会議、部活動やアルバイト、家族との手紙のやりとり、食事・コンパや読書・映画などの日常・余暇について、さまざまな事柄が詳細に綴られており、当時の北大生の生活の一端がうかがわれます。

アルバムには、第2代恵迪寮（1931～1983年）、月寒学寮、研究室で撮ったカラー写真が収められています。また、閉寮直前の第2代恵迪寮を取材した『アサヒグラフ』（1983年2月11日発

行）もあり、見開きのフォトグラビアで寮内の様子が写されています。

学寮については、日記以外にも、寮史編集委員会のノートがあります。学寮問題の経過がまとめられているほか、寮OBへのインタビューも行われていたことがわかります。

これらは、1970～1980年代の本学における教育や学生生活を伝える貴重な資料群です。

今後、受贈資料は、大学文書館において整理・保管し、閲覧・展示などを通じて広く紹介してまいります。

（大学文書館）



在学中の日記



正門と恵迪寮祭中の正面玄関にて



月寒学寮